

地域とともに

お問い合わせは
国土交通省
東北地方整備局
三陸国道事務所
地域づくり相談室まで

三陸国道

がんばろう! 東北

〒027-0029
宮古市藤の川4の1
tel 0193-62-1711
fax 0193-71-1734

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは

 で検索出来ます。



新年あけましておめでとうございます

平成26年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、平素より道路行政につきましてご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災から早いものでまもなく3年を迎えます。

昨年は、復興道路及び復興支援道路として平成23年度に新規事業化された三陸沿岸道路(山田～青森県境間、延長約100km、7区間)と宮古盛岡横断道路(宮古～箱石間、延長約33km、1区間)について、被災地の早期復興のリーディングプロジェクトとして、事業の更なるスピードアップを図って参りました。

昨年の3月27日には三陸沿岸道路の田老岩泉道路の起工式を行い、残る区間も準備が整った区間から順次着工し、11月18日に尾肝要普代道路、11月30日に宮古盛岡横断道路の宮古箱石工区の起工式を行いました。

これにより岩手県内の三陸沿岸道路の全区間(9区間約122km)が工事着手すると共に、三陸国道事務所管内の復興道路・復興支援道路の全区間(8区間、延長約133km)が事業化から2年以内に工事着手となりました。

通常、新規事業化から工事着手まで概ね4年かかるところを、県・関係市町村や地域の方々のご支援・ご協力、そして全国初の「事業促進PPP」の導入等により、事業化から2年という異例の早さで全区間の着工が実現出来ました。改めて感謝申し上げます。

また昨年は、宮古道路の千徳大橋(3月)、普代道路(10月)が供用しました。開通式には、地域の方々にも多数ご参加頂きました。普代村では普代道路供用後に、現道45号を利用した地元商工会議所等の主催による「冬の市」が開催され多くの人々で賑わいました。

本年は、三陸沿岸道路の尾肝要道路が年度内の供用を予定しており、国道45号最大の難所である閑伊坂峠の解消が図られます。災害時の対応や地域振興などに大きく貢献するものと期待しております。

昨年より大ロット工事に着手し、工事も本格化しております。

引き続き、現在工事中の久慈北道路などを含め、早期供用に向けて、関係機関や事業促進PPPと一体となり、更なるスピード感を持って事業を推進して参ります。

現国道45号では、落橋した気仙大橋の架け替え工事の推進や、陸前高田～宮古市田老間の津波により大きな被害を受けた箇所について、沿道のまちづくり計画と一体的に現道45号の再配置や盤上げの事業を進めております。

先の東日本大震災において三陸縦貫自動車道をはじめ多くの道路が「命の道」(避難路や緊急物資輸送路)として機能したことを踏まえ、本年も引き続き安全・安心の確保に向けた道づくりと、被災地の早期復興のため、一日も早い開通に向けて関係者一丸となって全力で取り組んで参る所存でございます。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

